



ボディ アンド ソウル 原美術館コレクション展

9月17日[土] - 1月4日[日] 現代美術ギャラリー

“ボディ アンド ソウル (body and soul / 身体と精神)”という語句は、昔からアメリカなどでは映画や楽曲の題名に何度となく使われ、日本語の中でも音楽を中心によく見かけるようになってきました。現代美術ギャラリーの展示では、原美術館コレクションの中から“ボディ アンド ソウル”をキーワードに選んだ作品で構成いたします。身体(ボディ)は心(ソウル)の容器であり、“魂の抜け殻”などという言い回しもありますが、身体こそ自分自身であると考えられることもできます。また、自分という存在が他者や周囲の世界と関わるための媒体(メディア)としての身体という考え方もあります。そして、さまざまなツール、テクノロジーを通して身体を拡張してきたのがメディア時代の



の私たちであるとも言えます。今回展示する絵画、写真、彫刻等の作品は、身体(ボディ)を直接モチーフにしているものもあれば、そうでないものもあります。さまざまな表現を通して、自分にとって身体の意味、身体と精神の絆を見つめ直していただければと思います。

出品作家:

加藤泉 / 草間彌生 / 篠原有司男 / 東芋 / やなぎみわ / 米田知子 / ウィリアム ケントリッジ / ローリー シモンズ / ミカリーントーマス ほか

写真左から: ミカリーントーマス「ママ プッシュ:母は唯一無二の存在」2009年 / 加藤泉「無題」2006年

姿色端麗 重要文化財「縄暖簾図屏風」を中心に

9月17日[土] - 10月26日[水] 特別展示室「観海庵」



重要文化財「縄暖簾図屏風」を修理後初公開いたします。江戸時代に多く描かれた美人図の先駆けとなる「縄暖簾図屏風」は、一人立ち美人図への過渡期を示す重要な作例。本展では、この屏風を中心に、伝蛇足筆「靈昭女図」や狩野宗徳筆「楊貴妃双陸図」など、女性が描かれた絵画に着目しました。作品のなかの女性がどのような眼差しで捉えられ、表現されているかについて見つめてみます。また、原六郎コレクションの古美術とあわせて原美術館コレクションから、<現代における女性>という主題の表現の一例となる作品を展示いたします。当館のコレクションを通じて、時代や地域を越えた表現が織りなす女性像の対話をお楽しみください。

重要文化財「縄暖簾図屏風」 二曲一隻 江戸時代 17世紀

出品作品

古美術: 重要文化財「縄暖簾図屏風」江戸時代 17世紀 / 伝蛇足「靈昭女図」室町時代 16世紀 / 狩野探幽「蛤蜊観音図」江戸時代 17世紀 / 狩野派「花鳥図屏風」(三井寺旧日光院客殿障屏画) 桃山~江戸時代 17世紀 / 狩野宗徳「楊貴妃双陸図」(狩野派寄合書) 江戸時代 17世紀 / 狩野四郎二郎・貞信「王昭君図」(狩野派寄合書) 江戸時代 17世紀 / 「葡萄栗鼠蒔絵提重」江戸~明治時代 19世紀 など
現代美術: 森村泰昌「鏡を持つ自画像」1994年 / 伊島薫「タマオ シリーズ」1984-86年 / マルタパン「彫刻 93」1965年 / 青木野枝「立山」2007年 / 倉俣史朗「花瓶 #3」1989年

と き 季節の造形

10月28日[金] - 1月4日[日] 特別展示室「観海庵」

日本人が育んできた季節や時の移ろいへの鋭敏な感覚を、さまざまな美術表現を通してお楽しみください。



円山応挙「淀川両岸図巻」一巻(部分) 江戸時代 明和2年(1765)

【開催要項】

会場: ハラ ミュージアム アーク 〒377-0027 群馬県渋川市金井 2855-1 Tel: 0279-24-6585 主催: 原美術館

ウェブサイト: <http://www.haramuseum.or.jp> 携帯サイト: <http://mobile.haramuseum.or.jp>

ブログ: <http://www.art-it.asia/u/HaraMuseum> ツイッター: <http://twitter.com/#!/HaraMuseumARC>

開館時間: 9:30 am - 4:30 pm (入館は4:00 pmまで) 休館日: **木曜日(11月3日、12月29日は除く)、1月1日[日]**

入館料: 大人(中学生以上) 1,000円、小人(3才 - 小学生) 500円 20名以上の団体は1割引き

[ハラ ミュージアム アーク・伊香保グリーン牧場セット券 大人 1,800円、小人 900円]

交通案内: JR 上越線「渋川駅」より「伊香保温泉行」バスにて 15分、「グリーン牧場前」下車。お車の場合 関越自動車道「渋川・伊香保 I.C.」より 8km、15分。

【お問い合わせ・資料のご請求先】 ハラ ミュージアム アーク 広報 品川・小野

〒377-0027 群馬県渋川市金井 2855-1 Tel: 0279-24-6585 Fax: 0279-24-0449 e-mail: press@haramuseum.or.jp

[*スケジュール・内容を変更する場合がございます。当館へご確認いただきますようお願いいたします](#)